

住まいの相談会

開催のお知らせ



- 「借地にある建物を相続しました。建替えを考えているのだけれど、気を付けないといけないことはあるのかしら？」
- 「道路から奥の敷地に建物が建っていると建替えられないの？」
などのお悩みはありませんか？



皆様の住まいに関するお悩みに役立つ情報をご提供します！

相談は予約制となります。事前に下記お問合せ先までご予約ください。※当日空きがある場合にはご案内できます。

【開催日時】

①平成30年9月7日(金)

午後7時から午後9時30分まで

※受付：午後6時45分から午後8時30分まで

②平成30年9月8日(土)

午前9時30分から正午まで

※受付：午前9時15分から午前11時まで

【場所】

尾久ふれあい館 4階
レクホール

(西尾久二丁目25番13号)

※右地図をご参考ください。



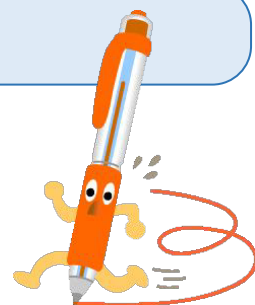
お客様と専門家・区職員が個別にお話できるよう、お席をご用意しております。

ミニ講座「建替えに関する法律豆知識②」

冒頭にミニ講座(30分程度)を開催します。

今回は、土地や建物にまつわる『知っておきたい』法律豆知識として、相続に関する事、その他建替え等に関連する法律問題について、事例を交えながらご紹介いたします。

- 紹介事例
- 建替えを考えている時、地主さんに相続が発生。承諾は誰に？
 - お隣の工事の足場が自分の敷地に越境している …など



【住まいの相談会に関するお問い合わせ先】

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係 (区役所北庁舎2階⑭窓口)
電話：(03)3802-3111 (内線2829) /FAX：(03)3802-4104

平成30年8月編集発行

荒川二・四・七防災まちづくりの会

荒川二・四・七防災まちづくりの会では、防災まちづくりの推進活動として、当面、地区全体の防災まちづくりに関すること、旧荒川図書館跡地の公園計画に取り組んでいく予定です。



■今年度協議会活動(一部予定)

日付	内容	備考
7/3(火)	第1回協議会 講演「糸魚川市駅北大火の復興まちづくりの現場から」	開催済み。次頁の概要報告をご覧ください。
10/23(火)	第2回協議会 ・不燃化まちづくりについて ・公園計画ワークショップ①(前提条件、公園イメージ)	奮ってご参加ください。会員以外の方は、お手数ですが下記によりお申し込み願います。
12/17(月)	第3回協議会 ・公園計画ワークショップ②(基本方針まとめ) ・不燃化の事業進捗報告	
来年度以降	公園ワークショップは平成31(2019)年度も続けて実施し、公園計画案としてまとめます。平成32(2020)年度以降、旧荒川図書館が解体され次第、公園整備を進めていきます。	

参加者募集

旧荒川図書館跡 公園計画ワークショップ

平成30年度 全2回
10/23(火)、12/17(月)
18:30~20:30

場所：第二峡田小学校2階ランチルーム

申込み：9月中

対象：18歳以上。荒川二・四・七丁目地区周辺に在住または在勤で、原則、2回とも参加可能な方。

参加者の氏名、住所、電話番号を下記へご連絡ください

- ※万一、会場の定員を超えた場合、申込先着順とし、ご参加いただけない場合がございます。ご了承ください。
- ※荒川二・四・七防災まちづくりの会会員及び公園予定地に接してお住まいの方は申込み無しでご参加いただけます

ワークショップとは様々な立場や価値観をもった参加者が一緒にアイデアを出し合い、自由な意見交換により、計画案を検討していく活動です。図面や模型を使いながら、どんな公園にしていきたいか皆で考えましょう！



お申込み先：

UR 都市機構 密集市街地整備部

荒川二四七 公園ワークショップ事務局 中山、谷

(電話、ファックス、電子メールのいずれかで)

➤ 電話 ➡ (03)5323-0474

平日 9:15~17:40

➤ ファックス ➡ (03)5323-0354

➤ 電子メール ➡ arakawa247@ur-net.go.jp

【荒川二・四・七丁目地区に関するお問い合わせ先】

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係 杉山・太田
電話：(03)3802-3111 (内線2834) /FAX：(03)3802-4104

第1回全体会のご報告（開催概要）

7月3日に開催された第1回全体会では、不燃化まちづくり勉強会と題して、糸魚川市産業部復興推進課の太田さんをお招きして、糸魚川市駅北大火後の復興まちづくりについてお話を伺いました。また、区よりブロック塀の点検・撤去についてのお話もありました。

講演「糸魚川市駅北大火の復興まちづくりの現場から」

糸魚川市産業部復興推進課 太田亘さん

糸魚川市駅北大火とは？

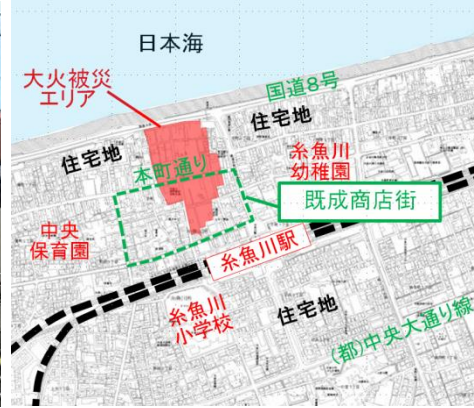
平成28年12月22日（木）午前10時20分頃、北陸新幹線・えちごトキめき鉄道糸魚川駅に近い古くからの市街地で起きた火災です。

当日フェーン現象に伴う強い南風により、延焼が拡大しました。酒田大火以来40年ぶりの市街地大規模火災と言われています。

出火：平成28年12月22日（木）10時20分頃
鎮火：平成28年12月23日（金）16時30分
焼損棟数：147棟 焼失面積：約4ha
負傷者：17人 ※糸魚川市消防本部観測より



出典：糸魚川市HPより



復興まちづくり計画の策定

大火からの復興に向けて、火災発生から8カ月となる、平成29年8月に「復興まちづくり計画」が策定されました。計画では、火災や災害に強い糸魚川らしい景観・まちなみの再生に取り組むことが位置付けられています。



消失した糸魚川らしい景観・まちなみ



復興まちづくりの取組の紹介

復興まちづくり計画における「災害に強いまち」「にぎわいのあるまち」「住み続けられるまち」の実現に向けた、様々な取組の紹介がありました。

【住宅等の再建】



（糸魚川市「糸魚川市駅北大火からの復興」パンフレットより）黄色の○印が、大火後に再建された物件

大火から1年半後の現在では、30以上の住宅・事業所が再建又は工事中となっています。中央部の四角い凹部が見えるのは、大型防火水槽埋設工事を行っている「にぎわい創出広場」です。

【市道の拡幅】



大火前

大火直後

現在

【酒蔵の再建】



【にぎわい創出広場の整備検討】



復興マルシェ（にぎわい創出広場）

若者たちの話し合い（復興まちづくり情報センター）

ブロック塀について（荒川区より）

6月18日に大阪府北部で発生した地震により、ブロック塀等が倒壊し、小学4年生の女児と80歳の男性が亡くなりました。荒川二・四・七丁目地区においても、心当たりのある方は、速やかにブロック塀等の点検・撤去をお願いしたい、との話が荒川区よりありました。

危険なブロック塀の例（出典：全国建築コンクリートブロック工業会HPより）



傾きまたはグラツキがある。

ひび割れがある

高さが高すぎる

控え壁の間隔が広すぎる。また控え壁がない。

ブロック塀等撤去助成事業について

～荒川区では、道路に面する危険なブロック塀等を撤去するための費用の一部を助成します～



助成の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・道路等に面する危険なブロック塀等 ・ブロック塀等の高さが1.2メートルを超えているもの <p>※その他ブロック塀等の状況によっては、助成の対象にならない場合がありますので、事前にご相談ください。</p>
助成の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去工事費用の3分の2 ・ただし、1メートル当たり6,000円が上限

参加者の感想

- ・荒川二・四・七丁目地区内の危険ブロック塀の点検をしたい。
- ・ブロック塀の助成制度の仕組みをもっと知りたい。
- ・糸魚川では復興に向けてまちづくり計画が進められているとのこと。酒蔵等を残しつつ素敵なまちづくりになるといいと思う。
- ・荒川区の火災は最近少ないようだが、いざという時のために最低限の消防力は必要だ。本日の講演は東京にもあてはまることが多く、大変有意義で感謝している。

